



旧JR九州本社ビル上から見た門司港駅線路



屋根の大時計

よみがえる、古き良き時代の風格

門司港駅

北九州市は明治の近代化の中で、国家の産業を支える製鉄業の地として、また九州の玄関口としての重要な地位を与えられた。

九州の鉄道の起点駅である門司港駅は、日本では事例の少ない頭端式ホームの駅として設計されているため、ファサードから入構すると列車の先頭が迎えてくれる劇的な構成となっている。ヨーロッパの駅に多くあるように食堂が端部に設けられた構成は旅情を誘う。

駅から出ると、隣接する旧 JR 九州本社ビル、対面する門司郵船ビルによって構成された広場空間が特筆に値する。

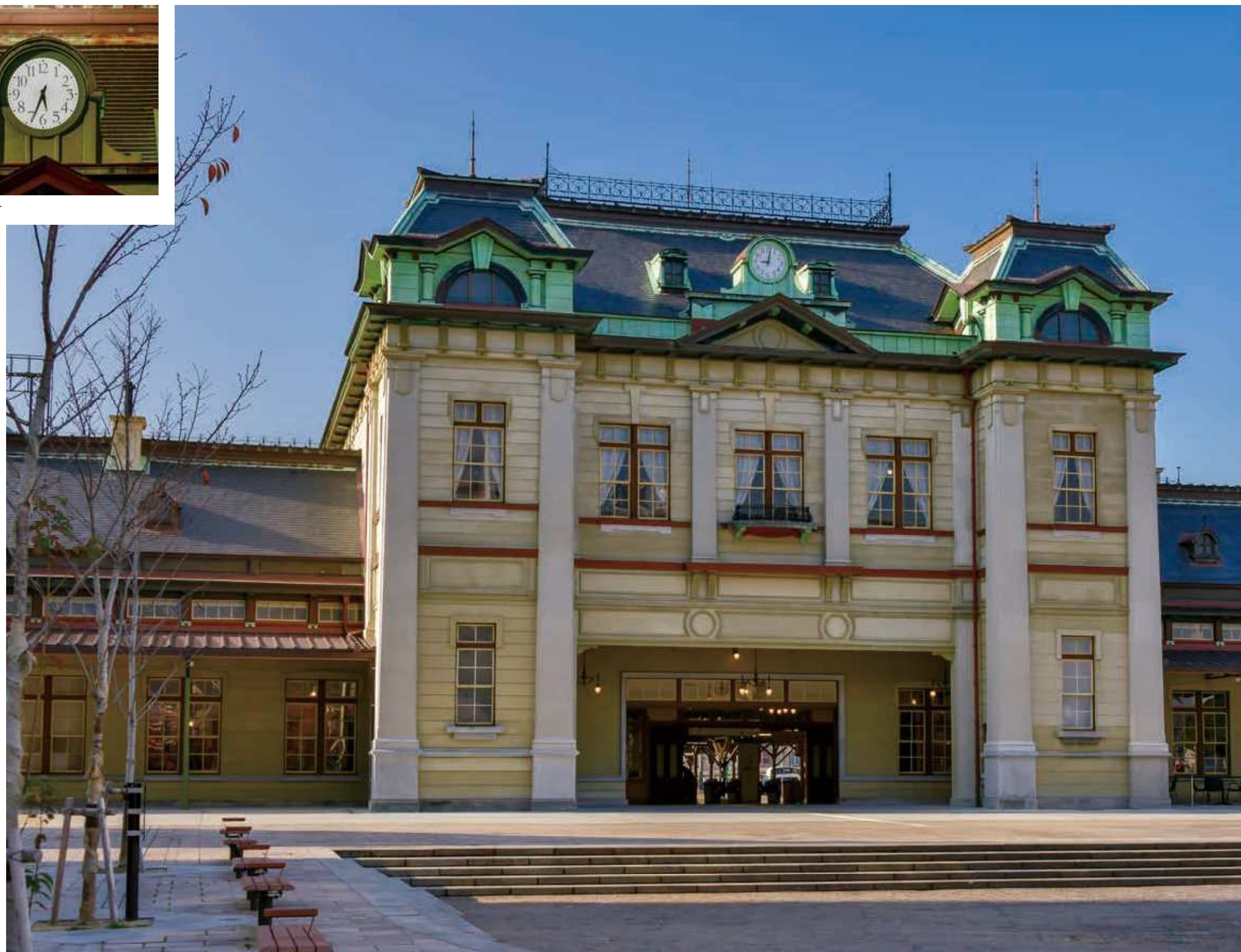
保存修理工事を経て、1914年(大正3年)の創建当時の姿に復元されたが、古資料を探しての復元は困難を極め、壁紙や外壁、シャンデリアなどが再現された。屋根にかかる大時計は1918年(大正7年)に取り付けられたことが判明したが、九州初の電気時計として残された。

かつて、門司港駅から関門連絡船の棧橋へとつながっていた通路が現存し、本州との連続性を示唆している。

(赤川 貴雄)



ライトアップした門司港駅



11 JR門司港駅(旧門司駅) | 所在地/門司区西海岸 1-5-31 竣工/1914年 設計/鉄道院九州鉄道管理局工務課



12 関門海峡の景観（下関市 火の山公園展望台からのぞむ）



13 旧大阪商船
所在地／門司区港町 7-18
竣工／1917年
設計／河合幾次



14 旧門司三井倶楽部（旧門鉄会館） 所在地／門司区港町 7-1 竣工／1921年 設計／松田昌平



15 旧門司税関 所在地／門司区東港町 1-24 竣工／1912年 設計／妻木頼黄・咲寿栄一（大蔵省臨時建築部）



21 門司区役所（旧門司市役所）
所在地／門司区清滝 1-1-1
竣工／1930年 設計／倉田謙



22 北九州銀行門司支店
（旧横浜正金銀行門司支店）
所在地／門司区清滝 2-3-4
竣工／1934年 設計／桜井小太郎

20 きんきりょう
三宜楼 所在地／門司区清滝 3-6-8 竣工／1931年 設計／不詳



16 門司電気通信レトロ館（旧門司郵便局電話課）
所在地／門司区浜町 4-1
竣工／1924年 設計／山田守（逓信省）



17 門司郵船ビル（旧日本郵船門司支店）
所在地／門司区港町 7-8
竣工／1927年 設計／八島知



18 門司港涼山亭（旧丸山山荘）
所在地／門司区丸山 2-12-6
竣工／1925～1934年 設計／不詳



19 旧JR九州本社ビル（旧三井物産門司支店）
所在地／門司区西海岸 1-6-2
竣工／1937年 設計／松田軍平



23 旧大連航路上屋（旧門司税関1号上屋） 所在地／門司区西海岸 1-3-5 竣工／1929年 設計／大熊喜邦（大蔵省営繕管財局工務課）



24 へきまき 部埼灯台
所在地/門司区大字白野江
竣工/1872年 設計/リチャード・ヘンリー・プラントン



25 九州鉄道記念館(旧九州鉄道本社)
所在地/門司区清滝 2-3-29
竣工/1891年 設計/不詳



事務所棟



倉庫



組合棟



26 ニッカウヰスキー(株)門司工場 倉庫(旧大里製粉所倉庫)
所在地/門司区大里元町 2-1 竣工/1916年 設計/不詳
※一般見学は行っていません



醸造棟

27 旧サッポロビール九州工場(旧帝国麦酒門司工場)
所在地/門司区大里本町 3-6-1 他
竣工/事務所棟・醸造棟・倉庫:1913年 組合棟:1917年 設計/事務所棟:林栄次郎 醸造棟・組合棟:林栄次郎(推定) 倉庫:不詳



28 旧古河鉱業若松ビル
所在地/若松区本町 1-11-18
竣工/1919年 設計/不詳



29 上野ビル (旧三菱合資会社若松支店)
所在地/若松区本町 1-10-17 竣工/1913年 設計/保岡勝也



30 石炭会館 (旧若松石炭商同業組合)
所在地/若松区本町 1-13-15 竣工/1905年 設計/不詳



31 ひのあしへい かほくどう
火野葦平旧居「河伯洞」
所在地/若松区白山 1-16-18
竣工/1940年 設計/不詳



32 とちき 枋木ビル
所在地/若松区本町 1-15-10
竣工/1920年 設計/松田昌平



33 料亭金鍋 本館、表門
所在地/若松区本町 2-4-22
竣工/1917年頃 設計/不詳



南河内橋



猿渡橋



中河内橋



北河内橋

34 南河内橋・北河内橋・中河内橋・猿渡橋
所在地／八幡東区大字河内3
竣工／南河内橋：1926年
北河内橋・中河内橋・猿渡橋：1927年
設計／八幡製鐵所

世界遺産のある街

平成27年7月5日、第39回ユネスコ世界遺産委員会において、幕末から明治時代にかけて日本の近代化に貢献した産業遺産群、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録決定されました。
この遺産群は、北九州市を含む8県11市にまたがる23資産からなり、本市の官営八幡製鐵所関連施設が構成資産に含まれています。



修繕工場



旧鍛冶工場



旧日本事務所

35 官営八幡製鐵所〔旧日本事務所、修繕工場、旧鍛冶工場〕 所在地／八幡東区大字尾倉 設計／不詳
竣工／旧日本事務所：1899年 修繕工場・旧鍛冶工場：1900年
※一般には非公開の施設です。旧日本事務所外観は眺望スペースから見られます。 写真提供：日本製鐵(株)九州製鐵所



36 大谷会館
所在地／八幡東区大谷1-2-4
竣工／1927年 設計／八幡製鐵所



37 折尾愛真学園記念館(旧折尾警察署庁舎)
所在地／八幡西区堀川町12-10
竣工／1909年 設計／不詳



38 春吉の眼鏡橋 所在地/小倉南区春吉 397-7 竣工/1919年 設計/不詳



41 BLUE BLUE KOKURA (旧小倉警察署庁舎)
所在地/小倉北区室町 2-2-1
竣工/1890年 設計/白水碩次郎



42 森鷗外旧居
所在地/小倉北区鍛冶町 1-7-2
竣工/1897年頃 設計/不詳



39 北九州市立戸畑図書館 (旧戸畑市役所)
所在地/戸畑区新池 1-1-1 改修/2014年 設計/榑青木茂建築工房
所在地/同上 竣工/1933年 設計/福岡県営繕課



40 旧安川邸 大座敷
所在地/戸畑区一枝 1-4-23
竣工/1912年(移築) 設計/不詳



43 ニッセイ戸畑ビル (旧共同漁業ビル)
所在地/戸畑区銀座 2-6-27
竣工/1936年 設計/榑竹中工務店

辰野金吾氏による建築群 *Buildings designed by Tatsuno Kingo*



正門



学生支援プラザ



記念講堂



鳳龍会館

44 九州工業大学(旧明治専門学校)
 正門、学生支援プラザ、記念講堂、鳳龍会館
 所在地/戸畑区仙水町 1-1
 竣工/正門: 1909年
 学生支援プラザ: 1927年(2007年改修)
 記念講堂: 1960年
 鳳龍会館: 1961年
 設計/正門・学生支援プラザ: 不詳
 記念講堂・鳳龍会館: 清家清



45 西日本工業倶楽部 洋館(旧松本家住宅) 所在地/戸畑区一枝 1-4-33 竣工/1912年 設計/辰野・片岡事務所



46 九州工業大学(旧明治専門学校) 正門守衛所
 所在地/戸畑区仙水町 1-1
 竣工/1909年 設計/辰野金吾・葛西萬司



47 旧百三十銀行八幡支店
 所在地/八幡東区西本町 1-20-2
 竣工/1915年 設計/辰野・片岡事務所